



埼玉県マスコット「コバトン」&「さいたまっち」

令和2年（2020年）産



麦類の生育概況 vol.6

（令和2年（2020年）5月1日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要約

- ◎ 気象概況：4月の平均気温は平年より1.0℃低く、降水量は4月13日と18日に大雨があり多かった。日照時間は多かった。
- ◎ 生育状況：低温で生育がやや停滞したものの、平年より早い～やや早い。播種時期による生育進度や生育量のばらつきが大きい。
- ◎ 今後取るべき技術対策
 - ・ 排水対策：排水機能維持のため、明きょ・排水路の補修を行う。
 - ・ 雑草防除：カラスノエンドウ、カラスムギ等、収穫物に種子が混入する恐れのある雑草の防除を徹底する。
 - ・ 適切な収穫：生育が早いいため、適期収穫の実施と、著しい倒伏部分や赤かび病発生ほ場の刈分けを徹底する。

1 気象の概況

4月の気温は、第1半旬を除いて平年を下回り、月平均では1.0℃低かった。降水量は、第1、3、4半旬にまとまった量の降雨があり、中でも4月13日と18日は50mmを超える大雨となった。月合計降水量は平年の188%となった。日照時間は、第4半旬を除いて平年より多く、月合計では平年比126%となった。

2 生育の概況

（1）センター内生育相（11月8日播種）

ア 小麦（さとのそら）

草丈はほぼ平年並みで推移した。莖数は4月10日時点では平年を大きく下回っていた。その後、莖数不足によって群落下部が多照となり、多雨も重なったことで遅発莖が多発し、4月30日調査時には莖数は平年を大きく上回った。しかし、遅発莖の多くは無効穂となることが予想されるため、有効穂数は平年並み～やや下回る見込みである。

出穂期は平年より11日早い4月1日となった。出穂以降はやや低温で推移しているが、5月は平年よりやや高温で推移する予報のため、成熟期は平年（5月29日）よりやや早まる見込みである。

イ 大麦（彩の星）

草丈は、平年をやや下回って推移し、4月30日調査では平年比90%とな

った。莖数は、弱小莖の夭折と遅発莖の発生が進行し、増減しながら平年を下回って推移した。4月30日調査時点では莖数の30%は遅発莖であったため、有効穂数は平年より著しく少なくなる見込みである。

出穂期が平年より20日早かったことから、成熟期は平年（5月17日）より10日程度早まる見込みである。

(2) 県内全般

4月の低温の影響で、小麦では出穂から開花までの期間が例年に比べ長くなるなど、麦類の生育はやや停滞したとみられる。しかし、今までが記録的に早かったため二条大麦、小麦とも生育は平年より早い～やや早い。また3月下旬の低温の影響で、一部に葉の黄化や不稔粒が認められるが、収量に大きく影響するほどではないとみられる。播種時期の違いによる生育のばらつきは依然として大きく、生育が良好なほ場もあるが、全般的には穂数が少なく、葉色が淡いほ場が多いため、平年より収量は低くなる可能性が高いとみられる。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

気象庁が4月30日に発表した向こう1か月予報では、天気は数日の周期で変わる見込みである。平均気温は高い確率60%である。

また、4月24日発表の3か月予報では、6月は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みであり、気温は平年並または高い確率ともに40%である。

(2) 生育予測

向こう1か月は、気温が高いと見込まれることから、登熟は早まると予想される。

4 今後取るべき技術対策

(1) 排水対策

登熟期の高温や集中豪雨などは、麦類の根にダメージを与えて枯れ熟れを引き起こす要因となる。このため、再度、明きよのつまりの除去や排水路との連結の確認を行い、排水対策を徹底する。

(2) 雑草種子の混入防止

カラスムギやカラスノエンドウはグレーダ等で選別できないため、発生している場合は、必ず収穫前に抜き取りを行う。

(3) 適切な収穫の徹底

刈り遅れるとその間の降雨などによる外観品質や容積重の低下が生じるため、天気予報等にも留意して適期収穫を徹底する。特に倒伏したほ場の適期判

断は困難となるので、倒伏程度の軽い部分を先に収穫し、著しい部分とは別刈りするなどして、刈り遅れや穂発芽粒等の混入による品質低下を防ぐ。また、万が一、赤かび病が発生したほ場では必ず刈り分けを行う。

(4) 適切な調製作業

赤かび病の有無にかかわらず、収穫後は速やかに乾燥する。

グレーダは麦種ごとに適切な網目を使用し、適正な流量を保って調製する。

(5) 機械類の整備

収穫適期が早まる可能性が高いため、コンバイン、乾燥機等の清掃や点検等、収穫作業に支障を来さないように早めの準備を心掛ける。

解析・考察に用いたデータ

1 4月の気象表(熊谷気象台日別測定値から集計)

半 旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	12.2	11.0	17.8	16.7	7.6	5.9	19.0	15.4	39.4	31.4
2	11.8	12.2	18.1	18.0	6.2	7.0	4.0	17.1	52.5	31.2
3	11.0	13.2	16.3	19.0	6.3	8.1	67.5	16.9	35.7	30.3
4	12.4	14.1	16.8	20.0	8.7	9.0	81.0	16.0	26.2	30.3
5	12.7	15.0	19.2	21.0	6.8	9.8	3.0	14.8	38.9	31.4
6	15.3	15.9	22.1	22.0	8.8	10.6	0.5	12.6	46.6	32.3
平均	12.6	13.6	18.4	19.5	7.4	8.4	合計 175.0	92.9	239.3	190.2

注. 半旬数値は熊谷気象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は気象台値

2 生育状況

品 種 名	調査日	草 丈		茎 数		葉 位		風乾重		風乾歩合	
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/株)	平年比 (%)	本年 (L)	平年差	本年 (g/100本)	平年比 (%)	本年 (%)	平年差
さとのそら	4月10日	71.8	107	3.7	69	11.5	-0.1	732.8	137	29.0	7.1
	4月21日	83.9	106	5.5	120	11.5	-0.1	756.9	114	27.3	2.9
	4月30日	81.0	93	6.0	136	11.5	0.0	872.2	101	34.8	4.9
彩の星	4月10日	87.9	100	7.0	94	10.3	-0.4	879.2	113	31.2	10.2
	4月21日	85.3	88	5.9	79	10.3	-0.4	887.6	91	32.5	6.9
	4月30日	85.9	90	6.1	86	10.3	-0.3	1026.9	100	40.6	10.8

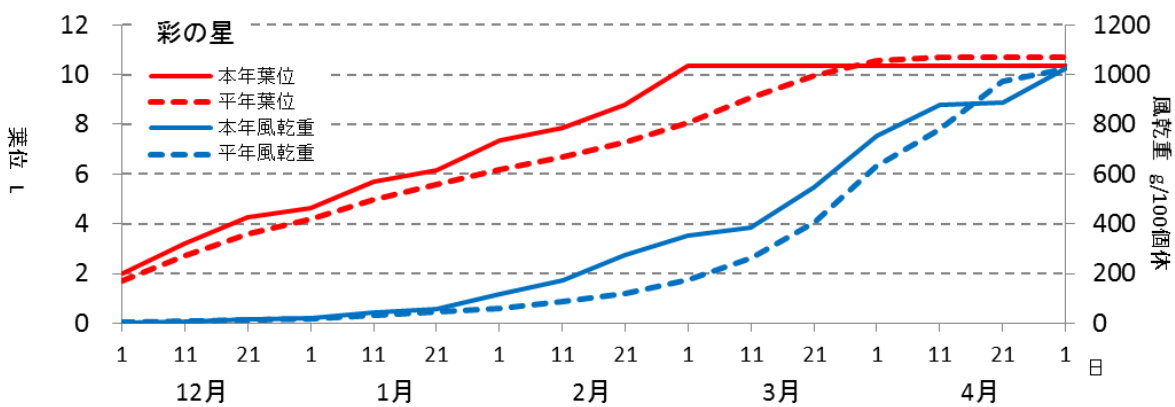
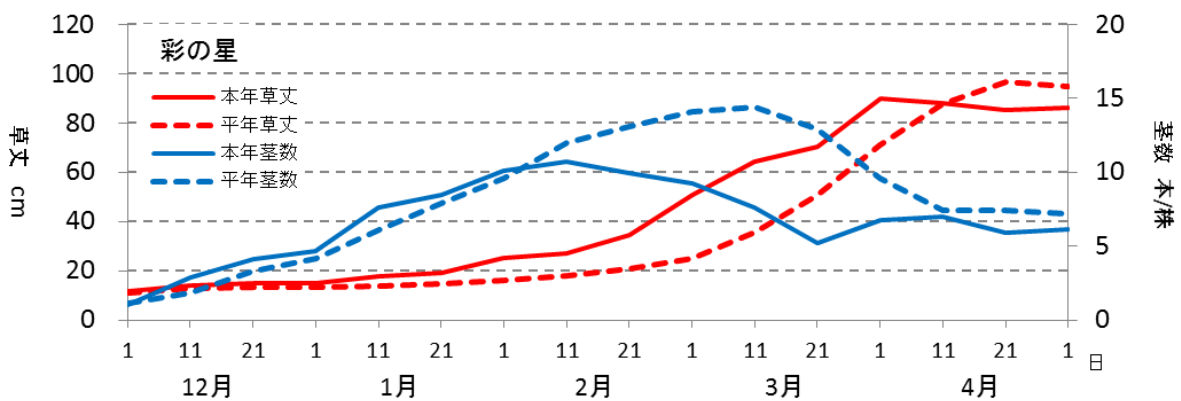
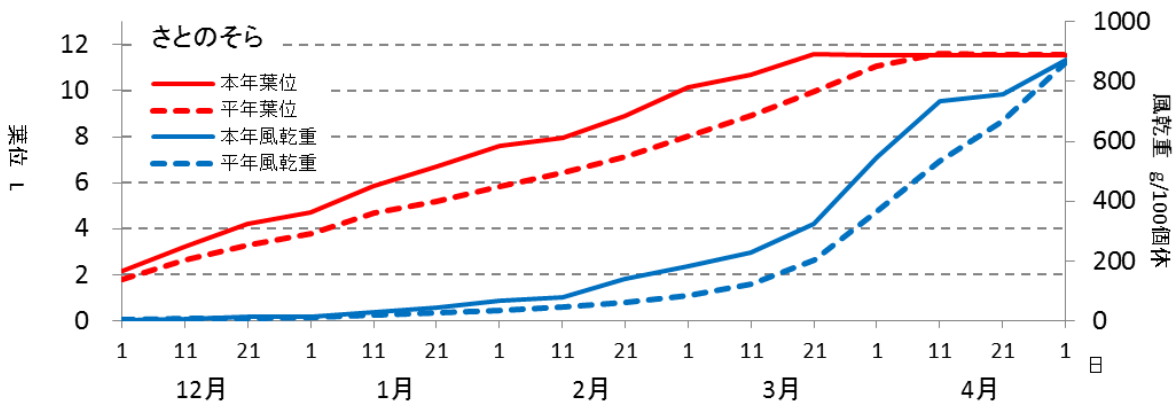
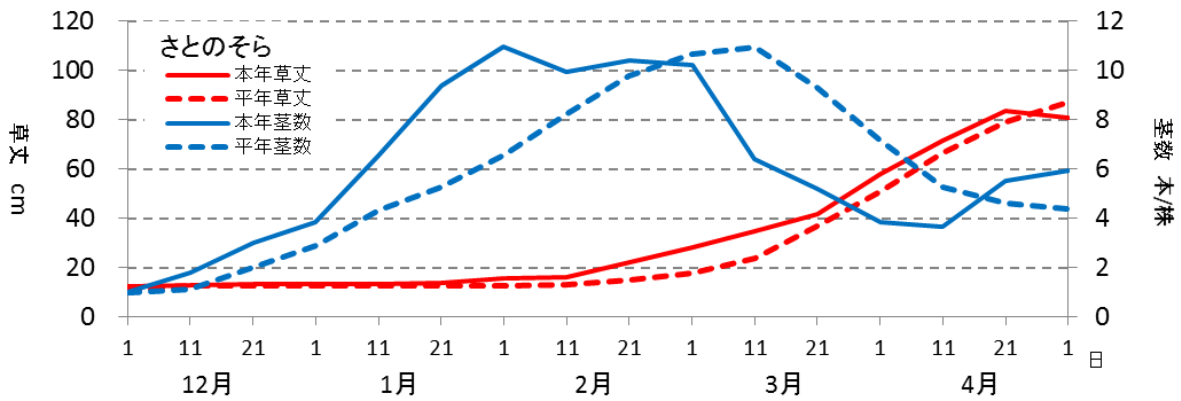
注1. さとのそら平年値は、過去6年間の平均値。□ 彩の星平年値は過去8年間の平均値。以下同様。

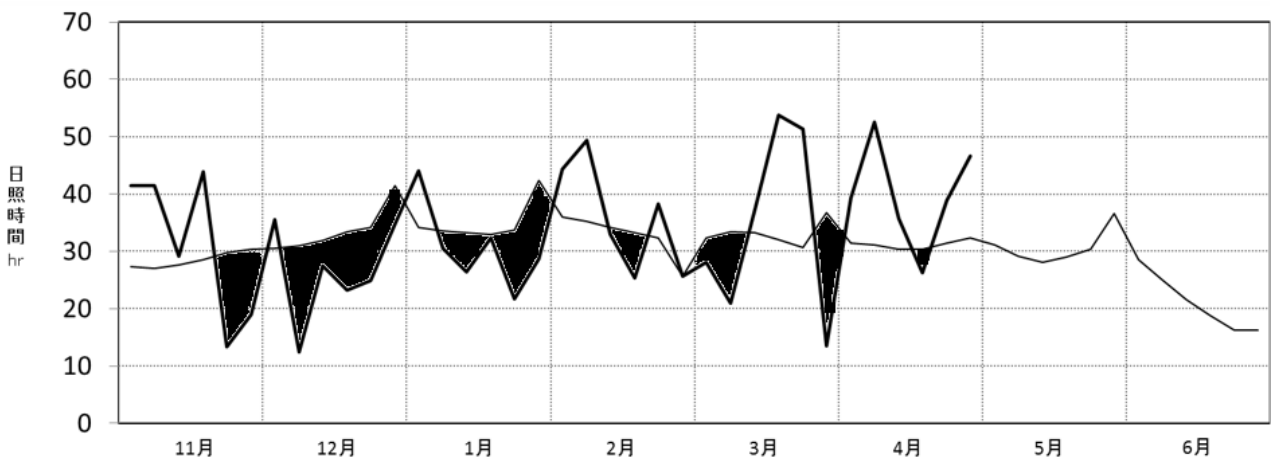
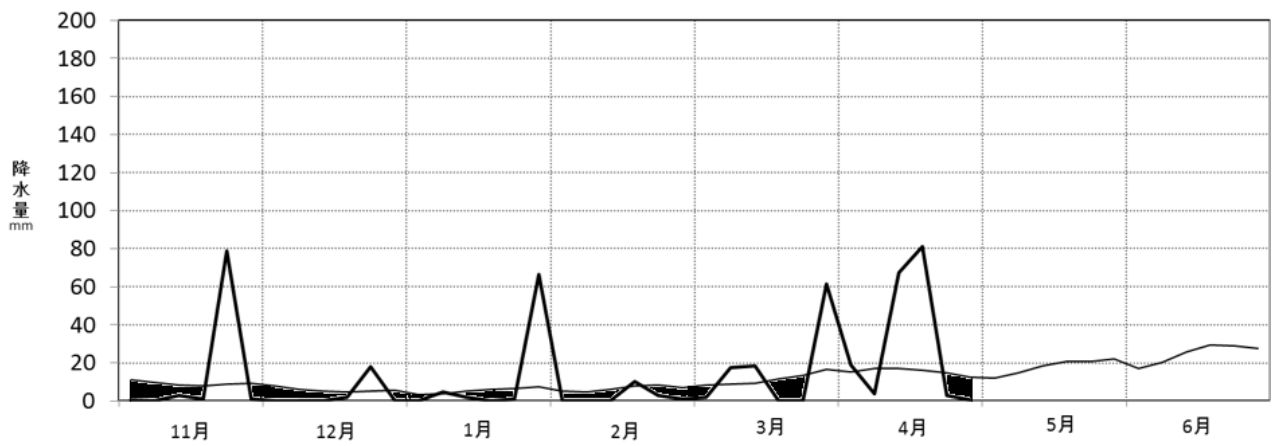
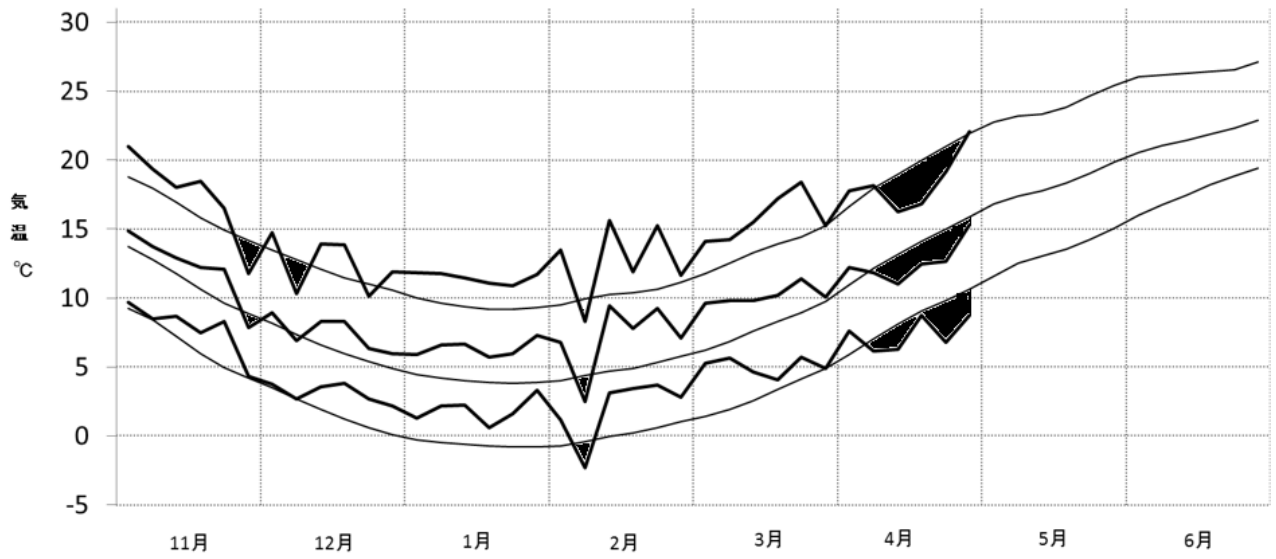
注2. 風乾重は、100個体当たりグラム。平年比は%。風乾歩合は風乾重/生体重。

3 出穂

品 種 名	茎立開始期			出穂始(月日)			出穂期(月日)			穂揃期(月日)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
さとのそら	2/29	3/13	-13	3/29	4/10	-12	4/1	4/12	-11	4/4	4/15	-11
彩の星	2/9	3/2	-22	3/6	3/28	-22	3/11	3/31	-20	3/14	4/3	-20

4 生育経過





令和元年冬作期間気象図
(熊谷地方気象台測定値)